

わたしたちが運ぶのは未来です

 **運輸省**



みなの しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号
TEL 清水 <0543>52-4146(代)



イベント広場

清水港 日の出地区再開発進む

清水市は21世紀を目指す都市ビジョンを「国際海洋文化都市」「マリニピア清水の創造」と定め、各プロジェクトの具体化に取り組んでいる。

その一つとして、市民に親しまれる港づくりと、静岡県の広域的な観光の拠点形成を目指し、日の出地区の再開発計画が進められている。

この計画は、国(運輸省)、県、市が共同で取り組んだ「清水港ポータルネッサンス調査」などの検討に基づき進められているもので、内容は、イベント広場や親水緑地、商業施設、さらには商店街通り等の整備が計画されている。

イベント広場は、親水性があり人が集い野外コンサート等のイベントが行えることを目的としており、8月6日から始まる清水みなとまつりの会場として使用するためほぼ完成した。広場の周りにはヨーロッパの城壁を思わせる立体式遊歩道が建設され、正面には富士山が眺望できる。

また、港町商店街ではサッカーモニュメントが建設され、歩道には清水エスパルスの選手の色いっばいの美しい町並みが誕生する。さらに近々、再開発ビルの起工も予定されている。

富士山を望む「港まち清水」に賑わいと出会いの場・憩

7月20日清水市日の出センターにおいて「第54回海の記念日」の記念式典が開催された。式典は午前10時に始まり君が代斉唱の後運輸大臣式辞に続き主催者を代表して山田信司実行委員会委員長が挨拶され、続いて来賓の方々の祝辞が述べられた。この後海事情功者の表彰が行われ、第五港湾建設局長表彰関係では、個人の部で星野武三郎氏(株式会社橋本組)、団体の部で青木建設株式会社が受賞され、高松所長から表彰状が手渡された。

また同じく名古屋港湾会館で行われた局長表彰個人の部では、岡部史朗氏(東海大学

第54回海の記念日



サッカーモニュメント

海洋学部教授)、鈴木通弘氏(静岡県地方港湾審議会委員)に感謝状が渡され、団体の部では、東亜建設工業株式会社、佐伯建設工業株式会社、日本テトラポッド株式会社それぞれ受賞された。

なお、当局管内の運輸大臣表彰は東京において行われ、大石建設株式会社代表取締役社長大石庄十氏、花崎潜水産業株式会社代表取締役花崎辰巳氏が受賞された。

静岡県の港シリーズ(十)

手石港

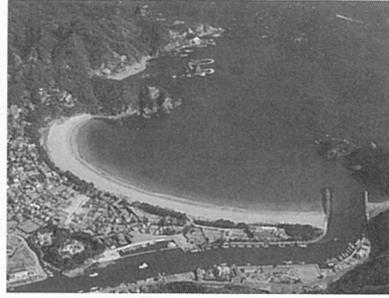
▼南伊豆町

伊豆半島の最南端に位置する人口一万一千人の町です。平地は青野川流域にわずしかみられないが、下賀茂の温泉をはじめ、太平洋岸には弓ヶ浜、石廊崎、波勝崎などの特異な海岸美が造成された自然があり、町の観光資源となっている。

交通条件に関しては、地理的な制約を受け、かつては悪条件であったが、昭和36年伊豆急行が下田まで開通して大幅に改善された。東京と約3時間で結ばれる。道路についても、伊豆半島を回るドライブコース網の整備が進んでいる。同町の地域社会の形成は、下賀茂日詰遺跡(昭和50年発

見)の発掘調査から、弥生時代にさかのぼる事ができる。出土品の中には、青銅製の四獣鏡、滑石製小玉など祭祀遺跡が見つかり貴重な資料を提供している。

江戸時代になると徳川幕府直轄地に指定され、農業と漁業を中心とした農村社会を築いた。明治22年町村制の施行により周辺の25ヶ村が合併し、南崎、竹麻、南中、南上、三坂、三浜の南賀6ヶ村が誕生した。この6ヶ村が昭和30年町村合併促進法により合併し、現在の南伊豆町となった。



手石港と弓ヶ浜

▼沿革

手石港は青野川の河口に位置し、往時は伊豆地方の移出入荷物のほとんどが本港を集積地として繁栄していた。平成5年度の取扱量は水産品81トン。

昭和51年7月の豪雨により青野川流域は大災害に見舞われ、これを契機に治水上の問

平成6年度港湾整備事業

第8次港湾整備5ヵ年計画の4年目にあたる平成6年度予算が6月23日成立した。当予算において、清水港工事事務所が管轄する3港(清水港、御前崎港、下田港)の港湾改修費に48億円が計上された。

清水港は、劣化が進んでいる富士見岸壁の補修が新たに認められた。

御前崎港の港湾計画は8月5日に港湾審議会が予定されており、計画が改訂され関係漁協の了解が得られれば、女岩地区岸壁建設のための土質調査等の着工が認められた予算になっている。

管轄港湾整備事業内容の概要については別表のとおりです。



御前崎港イメージパース

港湾整備事業

1. 直轄港湾改修費

(単位: 百万円)

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	外港	防波堤(改良)	470	既設防波堤前面に消波工36.0mを整備
		三保	〃	160	既設防波堤前面に消波工10.0mを整備
	多目的外貿ターミナルの整備	折戸	岸壁(-12m)	100	調査(港湾計画改訂後実施)
	物流施設の再整備	富士見	岸壁(-9m)(改良)	220	上部工腐食箇所86.3mを補修
	計			950	(対当初前年度比 124.2%)
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	女岩	防波堤(東)	1,853	基礎、本体及び消波工等95.4m防波堤築造整備
			防波堤(西)	37	調査(関係者同意後実施)
	多目的外貿ターミナルの整備		岸壁(-14m)	120	〃
	計			2,010	(対当初前年度比 108.6%)
下田港	天候の急変、暴風雨などの異常気象時に内港船舶などが安全に避難するため及び津波対策整備	下田	防波堤	1,888	基礎、本体及び消波工等28.0m防波堤築造整備
			計		1,888
	合計			4,848	(対当初前年度比 106.1%)

2. 作業船整備費

(単位: 万円)

項目	船種	事業費	備考
修理	監督測量船	1,094	まさき(清水港)、ふじ(御前崎港)、しもだ(下田港)の3隻修理
	合計	1,094	(対当初前年度比 108.6%)

題、さらには中小漁船の安全係留等の観点から、湊地区に小型船だまり施設が計画され、掘り込み泊地、物揚場が整備された。

一方、近年の漁船の大型化に対処するため、青野川右岸の手石地区において、物揚場(20m)、防波堤、道路の整備が平成4年に完了している。

左岸の湊地区においても、昭和60年から始まった津波対策事業の防波堤の嵩上げや、陸閘、水門整備が同じく平成4年に完了した。引き続き5年からの津波対策事業は、手石地区に着手している。

▼南伊豆遊歩道

南伊豆町には太平洋に面した多くの遊歩道があります。その中のひとつ、伊豆半島最南端石廊崎にある「長津呂遊歩道」を紹介します。



岩廊崎

石廊崎と中木を結ぶ47Km。石廊崎港船着場の一角にコースの起点があります。船着場

から石段を上がると、まもなく視界が開け展望所に出ます。天気の良い日には、目の前の太平洋に伊豆七島が浮かび大パノラマが展開する。



しばらく行くと、井戸の水が濁るところから名付けられた白水城跡に着きます。10分ほど歩いてジャングルパーク前を通り、石廊崎灯台へ向かいます。石室神社や伊豆の七不思議の一つ千石船の帆柱も見どころです。

ジャングルパークまで戻り国道に出ます。案内板に従って右に折れ草原に入ります。春は美しい草花が、秋には一面スキの雄大な景観が楽しめます。見晴らしの良い休憩舎を過ぎると、四国88ヶ所の石塔がところどころに見られます。三体の石仏を過ぎ小さな峠を下ると、石切場跡を見て終点中木港にたどりつきます。所要時間は約1時間40分。(ウォーターフロント窓口)

平成六年春の叙勲
植田勘一 元当所職員受章

5月9日植田勘一さん(65)は、永年に亘り清水港の港湾工事に尽力されたことにより勲六等瑞宝章を受章し、同日港湾局において賞状及び勲章の伝達式が行われ、皇居において拝謁がありました。

氏は、推薦を受けたお礼と受章の喜びを報告するため10日来所されました。

「受章は思いもかけない事で、妻同伴の伝達式は非常に感激しました。また、りっぱな勲章が戴けたのは、皆さんのおかげだと思っています。」と話された。

所長からは、「受章の対象となられたのは植田さんの功績に対して皆さんが評価したからであり、本当におめでとうございました。また伝達式は奥様のいい思い出になった



受章の報告に来られた植田さん

事と思います。」との言葉があり、勲章を手に和やかに懇談がなされた。

永年勤続表彰
おめでとうございませう

勤続三十年表彰者

御前崎工場長 栗原行弘

昭和三十九年に伝統ある清水港工事事務所に採用され、この度当所で勤続三十年を迎えることができました。感慨深いものがあります。

この間、清水を振り出しに東京、半田、名古屋(3回)、沖縄、豊橋(2回)そして御前崎と勤務地が変わりましたが、多くの方々のお力添えと家族の協力によりなんとか職務を全うすることが出来ました。ことに感謝を申し上げます。今後、社会環境、職場環境等も益々変化していくものと考えられますので、取り残されないように心身ともにリフレッシュし、職務に専心したいと思っております。

経理係主任 寺田雅江

六月一日三十年の永年勤続表彰を受ける事が出来ました。これも職場の皆様の御指導や御協力のお陰と感謝していま

す。

私達の年代では、結婚や出産を機に家庭に入ると言う時代で、子育ても、三才迄は、家庭でと言われていました。そんな中での産休明けからの保育園通い。職場へ、保育園へ家庭へと無我夢中で過ごした日々が懐かしく思います。子供達も成長した今、これからは、もう少しゆとりを持って仕事に、遊びに励んでいきたいと思っております。今後共よろしく願います。

勤続二十年表彰者

所長 高松 亨

勤続20年の表彰を受けて程なく、保険会社からの通知が届きました。役所に入り3年目に生まれた長男の、こども保険の18年満期を知らせるものでした。役人生活20年といっても誰もが言うようにあっと言う間でしたが、人が生を受けて成人する迄と考えると、その時の重さが実感させられました。

清水港は今世紀末に開港100周年を迎えます。清水港工事事務所は数年前に開設70周年を祝っています。こうした歴史も代々の職員の時の重さの積み重ねだと思えます。清水港の発展のために、自分の時

も積み上げられればと思っ
ています。



左から、井上、栗原、寺田、所長

契約係長 井上 實

この度、勤続20年という節目の年を清水の地でむかえることができましたのは、事務所の皆様方は勿論のこと、清水港という古き時代から富士山を背景に天然の良港として栄えてきた港があればこそと深く感謝しております。

仕事以外にこれといった趣味もない私に、今があるのは、職場の仲間のあたたかい協力や絆が20年という年月の間、私を支え続けてくれたからと思っております。

この表彰をばげみに、港湾労働者の一人として、清水港がより以上に発展していくために微力ながら仕事に邁進してまいりますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

工場だより

下田工場

★今年も地元中学生現場見学

去る、四月二十日に下田稲稗中学校の一年生と二年生約五十人が史跡調査の一環として下田港外防波堤を見学しました。当日は快晴で海象条件もよく、絶好の見学日和となりました。

現在、二百二十m既成している外防波堤と作業基地に仮置してあるテトラポッド約百五十個を約三十分かけて見学をしました。写真にあるとおり作業基地に仮置いてある五〇t型テトラポッドに触れて大きさを形を体験してもらうことが出来ました。



見学中の稲稗中学校生徒

また、五月二十日には下田東中学校の一年生約六十人による下田港内見学会を実施しました。下田東中学はこの様な下田港内現場見学会を昨年

度も実施しており、今回の港内見学会も好評で来年も港内見学会を実施したいという要請もありました。

外防波堤が完成する頃には今の中学生が成人し社会で活躍している事と思います。地元住民のみなさんに我々の事業を理解していただく上でも当工場では事業のPRにつながる現場見学を今後も、積極的に実施していこうと思えます。
(下田工場 渋谷和之)

御前崎工場

★氷を入れた味噌汁

古くから「カツオ釣り漁」が盛んな御前崎は、その他にも新鮮な魚介類が港に水揚げされている漁業の盛んな町です。その新鮮な魚を使った、御前崎の郷土珍味に「ガワ料理」があります。鮮度のいい魚をたたいて水に入れ、漬け物、しそ、梅干し、生姜、野菜等の具を加えたあと、味噌で溶いて氷を入れる。これで「ガワ料理」の出来上がり。栄養満点で、火を使わない、漁師の考えた船上のご馳走です。夏場に御前崎においての節は、ぜひご賞味下さい。ちなみに、ほとんどの宿泊施設で、夏場に予約すれば食べることが出来ます。

(御前崎工場 長澤隆夫)

◆ 清水の史跡 ③ ◆

☆ 羽衣の碑 ☆

日本の「能」を愛したフランス人エレーヌ・ジュグラリス夫人を偲んで、昭和27年(1952)三保の松原の羽衣の松の近くに建てられたものです。



羽衣の碑

一九一六年フランスブルターニュ生まれのエレーヌ夫人は、世界で最もシンプルで完璧な演劇として、我が国の「能」に魅了された。夫人の能の研究は一九四一年頃から始まったが、第二次世界大戦の戦中、戦後であったため困難をきわめた。しかし、独自の研究成果としてフランス各地で能公演を行った。
一九五一年故郷ブルターニュにおいて三十五才で死去。
生前夫人は、夫マンセル・ジュグラリスに「私の魂は日本、三保に愛着しているから、私にかわって三保を訪ねて下

管内の動き

- 6月
 - 1日 運輸省設置記念日
 - 2日 御前崎港整備促進期成同盟会総会 (御前崎)
 - 8日 所長会議 (名古屋)
 - 15日 田子の浦港振興会総会(富士)
 - 御前崎港振興会総会(御前崎)
 - 21日 人事院中部事務局懇談会 (静岡)
 - 28日 下田港防波堤調整会議(名古屋)
 - 東海港湾建設協会連合会通常総会 (名古屋)
 - 29日 静岡県防災会議 (静岡)
- 7月
 - 6日 清水港湾機関長会議
 - 港湾関係広報活動会議 (名古屋)
- 8月
 - 5日 御前崎港湾審議会 (東京)
 - 清水みなとまつり
 - 7日 労働省連絡会議
 - 20日 海の記念日式典・訪船
 - 22日 港湾整備促進に関する陳情・御前崎町長